

市民記者あまライターレポート

このページは、ボランティアの市民の方が取材・作成しています。

「みんなで子育てを楽しもう」をテーマに、子どもも大人も楽しめるイベントや子育て世帯応援企画で地域の交流を促進中！

子育て支援団体 『にこりpark』のご紹介

7月9日(土)美和文化会館、にこりparkが2019年から始めた『おさがりひろば(第8回)』に出向いた。ベビーからサイズ分けされた子供服が所狭しと並び、おもちゃコーナーを子どもたちが取り囲む。全て善意で集まったおさがりだ。「これ似合う?」と親子の会話も弾み盛況である。赤ちゃんを抱っこした初参加のパパから「モノを大切にする観点からも良い取り組みですね。」と感想を聞く。一袋詰め放題[協力金500円]は宝探し気分が味わえる。実施には物品管理や運搬など課題は多いが、参加者の笑顔と応援の声が次回の励みになるとスタッフは語る。



この日、三浦^{みうら}あかり代表に『にこりpark』の軌跡と活動を伺った。不安だった子育てが、地域の交流会で楽しめるようになった自身の経験から「恩送り、子育て中の孤独をなくしたい!」想いと共に、遊びや悩みを共感できる友人家族らとの輪が広がり、2021年からはゲームやスポーツで遊ぶ『にこり運動家族』を開始。主に七宝焼アートヴィレッジにて、毎月第1日曜日、第3土曜日に20家族の会員が自

由参加で継続している。子育ての学びやママの交流を支援する『ベビープログラム』も計画中。今後は?「参加家族が増えて共に活動することで、楽しみや悩みを共有できて困った時に助け合える『にこりファミリー』が広がって、地域みんなで子育て!につながれば嬉しいです。」とのこと。

『にこりpark』のポイントは「一緒に活動でご縁を濃ゆく」だろうか。『おさがりひろば』の運営はママだけではない。活動支援者や子どもたちとパパたちも、受付・商品整理など笑顔で貢献していた。『にこり運動家族』も参加者同志楽しんで、ご縁を深める協力体制が生まれていると推察する。コロナ禍で密の自粛を経て、このような絆を密にする一つ一つの市民活動が、住みやすさ・生きやすさにとって大切なのではないかと改めて感じている。

担当市民記者:Silky

『にこりpark』の情報は
こちらの二次元バーコードから!

